

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月25日

事業所名： 千葉市大宮学園 たけのこルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員に合わせ指導室を使用している。本年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からも3密に配慮し、日々利用人数に応じて指導室を変更して実施した。	
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準よりも手厚い3人体制を基本としている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		参加するお子さんの特性や状況に合わせ、感覚過敏のあるお子さんの場合には、過度な刺激を与えないよう整理してある指導室で療育を行う等の配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期的に清掃を行っており、遮光カーテンや空気清浄機等も設置している。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		目標設定を明確にし、職員間で共有している。PDCAサイクルにのっとり職員会議などで評価し、業務改善を進めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年2回、保護者向けアンケートを実施し、保護者の意向やニーズを把握して改善に務めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年2回の保護者向けアンケートと事業所向け自己評価を実施しており、指定管理の定期モニタリングでの報告と業務改善を図っている。評価結果と改善内容は施設内に掲示したりホームページ等で公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修について年間計画を立て、職員が研修に参加する機会を設けている。	
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントの評価と保護者ニーズ等に基づき目標と課題を設定し、会議を実施して個別支援計画を作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		概ね年一回、発達検査など個別の評価を実施している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「人間関係・社会性・アタッチメント形成」に重点をおき、自尊心が育まれるよう支援している また、保育所や幼稚園とも連携し支援を行っている。	
適 切 な 支 援 の 提 供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個々の課題や目標に沿った個別支援計画を作成している	○		個別活動と集団活動を組み合わせ、個々の課題や目標に沿った個別支援計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始時に、職員全員で当日の内容や役割分担などを確認するミーティングを実施している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		お子さんの行動を中心に、職員全員で振り返りや情報共有を行い、記録を作成している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容を業務日誌や個々のカルテに記録し、検証・改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員間で支援の振り返りを行い、支援内容や方法の見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に担当職員や児童発達支援管理責任者が参画し、連携を図っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係機関からの相談に応じ情報共有を行う等、連携した支援に努めている。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者からの相談だけではなく、各関係機関とも連携し、必要な情報共有と支援に努めている。	他機関との連携を密に取り、お子さんの療育に取り入れていく
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		主治医からの診療情報提供に基づいて情報共有を行い、主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		定期的に地域連携日を設け、必要に応じて保育所や幼稚園等への訪問や電話相談などを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
連 携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		個別支援計画、引継ぎ会議などを通して情報提供と相互理解に努めている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		千葉県通園施設連絡協議会や千葉市発達障害者支援センターなどの研修へ職員を派遣している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お子さんの状況や課題について、日々の活動終了後の振り返りや個別相談等で共有し、共通理解に努めている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		専門職による保護者向け勉強会の実施の他、個別支援においても、ペアレント・トレーニングの要素を取り入れた支援に取り組んでいる。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約及び契約更新時に内容の確認を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者ニーズと個々の課題・目標に沿った個別支援計画を作成し、定期的にな面談で説明と現状確認を行い保護者の同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的な面談で個別でお話しする機会を設けている他、心理判定員によるお話を実施し必要な助言と支援を行っている。また、誰もが相談できるように相談箱を設置している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者からの相談等については、その都度職員間で協議・検討を行い、適切な対応に努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動予定表や保健だよりを発行している。また、活動日には、次回の予定や留意事項について、お子様や保護者へ口頭で説明している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵の掛かるロッカーにて保管している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		随時面談や相談を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策定し全体周知を行うとともに、定期的な訓練を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月一回、防災訓練を実施している。 また、グループ毎の避難訓練も実施した。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		服薬状況やてんかん発作等について、契約時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	給食は、常食提供のみを行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎日療育終了後の会議でヒヤリハットの確認を行い、事例が生じた場合は対応方法を検討・共有し記録している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、定期的に伝達講習を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束は行っていない。	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。